

カサブランカ (Casablanca)

観賞日 2023年4月10日 上映時間 103分

【概要】

制作	1942年 アメリカ
監督	マイケル・カーティス
脚本	フィリップ・G・エプスタイン、ジュリアス・J・エプスタイン ハワード・コッチ
音楽	マックス・スタイナー
撮影	アーサー・エディソン
出演	ハンフリー・ボガード (リック・ブレイン)、イングリッド・バーグマン (イルザ・ラント) ポール・ヘンリード (ヴィクトル・ラズロ)、クロード・レインス (ルノー署長)



【あらすじ】

1941年のフランス領カサブランカ（現在はモロッコ）。酒場のオーナー、リック・ブレインの所にレジスタンスの大物リーダー、ラズロが妻を伴ってやってくる。ラズロの妻イルザはパリ陥落前の一時期、リックと恋愛関係にあり、二人は偶然の再会に驚く。ラズロはレジスタンス運動を続けるため、渡米を希望し、ひょんなことから通行証を手に入れたリックに譲渡を依頼するが、リックは拒絶する。その後、ラズロとイルザが別々にリックのもとに現れて……。今の生活を続けるか、イルザとの新しい生活を選ぶか、はたまたレジスタンス運動に協力するか。苦悩するリックが周囲を欺いて採った方策は……。

敵味方が入り乱れる戦時下のカサブランカを舞台にした伝説のラブロマンス。

【解説】

■ポイント

- 第2次世界大戦中に制作された映画
アメリカの連合国参戦後につくられたプロパガンダ映画
- 主役二人をレジェンドにした作品
ハンフリー・ボガード：渋くて格好いいイメージを決定的にした作品
イングリッド・バーグマン：美人女優としての評価を定着させた作品
- 受賞他
 - ・1944年第16回アカデミー賞
8部門にノミネートされ下記3部門で受賞
作品賞、監督賞、脚色賞
 - ・AFI アメリカ映画ベスト100（2007年版）第3位

■見どころ

- 当時のカサブランカ
ドイツ（事実上の支配者）、フランス（形式上の支配者）、レジスタンス（反ドイツ）
隠れアンチドイツが入り乱れた中立地帯
- 主役二人の会話
映画史に残る名セリフが多数：君の瞳に乾杯（Here's looking at you kid.）他
- 音楽
伝説の名曲となった「時の過ぎゆくままに」（As time goes by）
ドイツの楽曲「ラインの守り」からフランス国歌「ラ・マルセイユーズ」に切り替わるシーン